

青春～アオハル～

天童高等学校
1年次通信第30号
令和5年3月6日

「高校入試に伴う休業期間の生活について」

3月に入りました。5日（日）には、二十四節気の1つ「啓蟄」を迎えました。「冬の間、土中に籠っていた虫が這い出てくる」という意味を持ちます。この言葉に春の訪れを感じますね。

さて、明日3月7日（火）は山形県公立高等学校一般入学者選抜の日です。また、採点や合格発表等の関係から3月17日（金）までの間、みなさんは自宅学習となりますが、この中で心に留めて欲しいことを3つ話します。

1 指示された課題、自ら計画した学習等に計画的に取り組むこと。

すでに年次や教科担任の先生方から国語、数学、英語の教科、新聞スクラップ、学びの基礎診断の事前学習といった課題の連絡が入っているはずですが。提出期限を確認の上、計画的に取り組むようにしてください。なお、課題に取り組む中で学習の理解度が達成されている内容、理解不足の内容を改めて確認することです。

また、学校の課題を優先的に済ませた上で、自身の進路を見据え、自主的に計画した学習にも積極的に取り組みましょう。具体的にはこれまで受験した模擬試験の見直し、公務員講習等で学んだことの復習です。

2年次に入ればさらに学習内容の質・量がハードになります。今の時期からしっかりと行っていきましょう。

2 期間中、許可された日以外に校内に立ち入ることのないよう注意すること。

休業期間中は、原則登校することは出来ません。一部部活動等で登校が許可されている日もありますが、学級担任や顧問等の先生の指導のもと行動するよう心がけてください。

なお、保護者の方も含めて学校に用がある場合は、事前に連絡を必ず行った上で行動するようにしてください。

3 高校生としての自覚を大切にされた行動、体調の自己管理に努め、3月20日（月）には、元気な姿で登校すること。

気候が春に向かう中で、どうしても気が緩みがちになります。第29号の年次通信でもふれましたが、この期間は高校生としての自覚を大切にされた行動、体調の自己管理にしっかりと努めるようにしてください。特に行動については、本校の学校生活の中で受けてきた指導をもう一度振り返り、判断が求められる場面において、「それが正しいことか」、「それが必要なことか」を適切に考えて実践に移すことです。

次回登校日、3月20日（月）は「学びの基礎診断」の日となります。この日に合わせてしっかりとコンディションを整え、1年間の高校生活で培った学力を1年次生全員で出し切るようにしていきましょう。

年次主任